



平成18年度予算における

まちの 方針と 予算

「まちづくりは人づくり。住み続けられるふるさと室蘭を目指し、市民と手を携え心の通うまちづくりを推進します。」
新宮市長は、第1回市議会定例会初日の本会議で、市政方針を説明しました。その概要と、平成18年度予算の主な内容についてお知らせします。

市政方針説明の概要

昨年、半世紀以上保ち続けてきた人口10万人台を割り込むこととなりましたが、基幹企業の活況や、市民協働によるまちづくり、移住・定住対策やU・Iターン事業などの成果によって、まちの元気が認識されつつあります。その元気の根源には、幾多の試練に耐え、はぐくまれてきたものづくりのまちの優れた技術と人材があります。

本市を取り巻く情勢は、急速な経済の国際化や情報化のもとで、基幹産業による長年の努力が実り、好調のさなかにあります。

基幹産業の設備投資に伴う雇用拡大は、若者の流出に歯止めをかけ、優秀な人材の地元への定着がまちの担い手をつくるとともに、団塊世代の退職にともなう技術伝承の課題にも応えて、ものづくりのまちとして成長し続ける原動力になります。

今後は、環境産業をはじめ、ものづくりが新分野に広がることで、新たな技術や研究との交流を通じた人材育成も期待され、この絶好の機会を地域全体でしっかりと受け止めるとともに、積極的な姿勢で活況を作り出し定着させる大事な時期です。

今後とも「まちづくりは人づくり」の言葉を心に刻み、創造性豊かな人材をはぐくみ、その活躍と安らぎの舞台となる「住み続けられるふるさと室蘭」を目指し、市民と手を携え心の通うまちづくりを推進します。

予算編成の考え方

◆一般会計予算の歳入では、法人税割や個人所得割での増収が見込まれる一方、地方交付税などの減少から、一般財源収入は昨年比べて減少すると見込んでいます。

◆歳出では、人件費削減の効果をはじめ、協働改革プランの着実な実行により、3年連続で収支均衡を保つことができ、将来を見据えた財政基盤が形成されつつあります。

今後予想される困難

時代は「成長から持続へ」の転換の中にあり、困難な局面を迎えることも予想しなくてはなりません。

構造改革と社会構造の変化により、市民の暮らしと市の財政は大きな影響を受けます。地方分権の福祉制度は自己責任の性格を強め、市町村と住民の負担が増加する仕組みに変わってきています。

市民の参加と協力をいただき、着実に市政運営を進めて行く必要がありますと認識しています。

行財政改革の推進

国を挙げて改革が叫ばれる中で、

今後も一段と地方に対し行政改革が求められます。しかし、本市には、市民の理解を得て自主的に進めてきた改革の歴史があり、今年は「行政改革プログラム2000」の後期実施計画を策定する年にあたります。指定管理者制度においても、豊かな発想で取り組んでいる青少年科学館など、自発性と市民力が活かされ、改革の効果を実感できる事例が多くあらわれています。

◆「当面の人事政策」として、「小さく効率的な市役所」を目指し、徹底した事務の見直しと指定管理者制度のさらなる活用などを進めます。組織機構の見直しの検討や、職種別に職務経験がある人を採用する「キャリア採用」の実施、職員研修による能力向上などに努めます。

◆市民とともに進める「協働改革」では、行政パートナーの範囲や支援の拡大に向けて取り組むなど、6月をめどに「新たな財政見直し」を作成し、市民の皆さんの声を参考に、後期実施計画の策定に努めます。

たのびのまちづくり

たのびのまちづくり

本市の地域力は、製造業を中心に築かれたものづくりのまちの基盤が根本にあります。しかし、団塊世代の大量退職などにより、技術の伝承

が大きな課題になっています。今後、地元採用やインターンシップを通じて、若い力と意欲ある担い手の確保と育成を図り、ものづくりの基盤をより強固なものにしなければなりません。

◆室蘭工業大学では「ものづくり基盤センター」が設置され、実践教育や地域との技術交流などを目指した地域貢献が図られています。今後、幅広い分野での「大学と地域の包括連携」の検討を推進します。

◆PCB廃棄物処理施設が着工し、雇用や消費拡大などの新たな産業展開や地域・経済交流への期待が高まっています。

◆入江地区では、自然エネルギー有効利用推進事業として、民間事業者と連携した新たな風力発電事業、さらに昨年、室蘭工業大学が設置した「環境科学・防災研究センター」と地域との連携を図るなど、まちづくりを含めた環境産業拠点形成に取り組めます。



御崎町で建設が始まった、PCB廃棄物処理施設は、今年度中に完成を予定。

後設置する統合サービスセンターとともに、まちの顔になる快適な空間を創り出します。

◆フェリーの八戸航路休止や国際コテナ航路の問題を受けて、公共ふ頭整備やポートセールスなどを積極的に展開します。

◆追直漁港では、4月から道立栽培水産試験場が業務を開始し、Mランド構想とともに、市民と漁港の交流も視野に入れたマリナビジョンの策定を推進します。

◆胆振支庁の(仮称)入江地区広域センタービルへの移転入居は、道から一定の方向性が示され、具体化への前進を期待する中で、さまざまな課題への対応に向け「オール室蘭の力」結集と西胆振からの支援拡大に向けて努力し、実現を図ります。



北海道から胆振支庁の入居が示された、(仮称)入江地区広域センタービル建設予定地(海岸町)。

◆白鳥新道2期区間整備も、これまでの国・関係機関との協議を踏まえ、市民フォーラムを開催する中から広域的な観点を視野に入れ、引き続き関係機関に要請します。

◆「PCB」に関わる地域・経済交流促進協議会や「鉄をテーマにした体験」などの取り組みを活かし、地域連携による産業体験観光を検討します。

◆商業の振興は、「買(バイ)地域運動の日」制定による運動の浸透と、意欲ある商業者による地元消費喚起のための活動を支援するとともに、丸井今井室蘭店存続のため、物産展や各種イベント、介護予防事業の会場としても活用するなどの取り組みを推進します。

◆「中島まちづくり委員会」から提案があった「公共施設」については、周辺をはじめ、商業施設の動向や全市的な観点から検討します。

◆本市の既存商店街を中心とする「まちなか」は空き店舗が目立つなど空洞化し、商業・集客機能の衰退や、老朽施設等による安全の低下などを招いています。

これら多くの課題に対し、サークル都市を生かした合理的な都市機能の配置を実現することなどを念頭におき、長期的な展望に立った新たなまちへの再生を目指したいと考えています。

心をつなぎ、地域を結ぶ
サークル都市の創造

市民協働

昨年は、まち「ピカ」パートナー

が広がりを見せ、課題の解決は市民自ら担うという市民協働の意識が着実に根を下ろしつつあります。

また「白鳥大橋ハッピープロジェクト」など、若者が地域資源を活用して、室蘭を発信する新しい動きが芽を出すなど、市民相互の協働は、今後ますます重要になると考えます。



市民相互の意見交換がまちづくりの輪を広げる。(写真は、まちの魅力再発見に取り組む室蘭港立市民大学の皆さん)

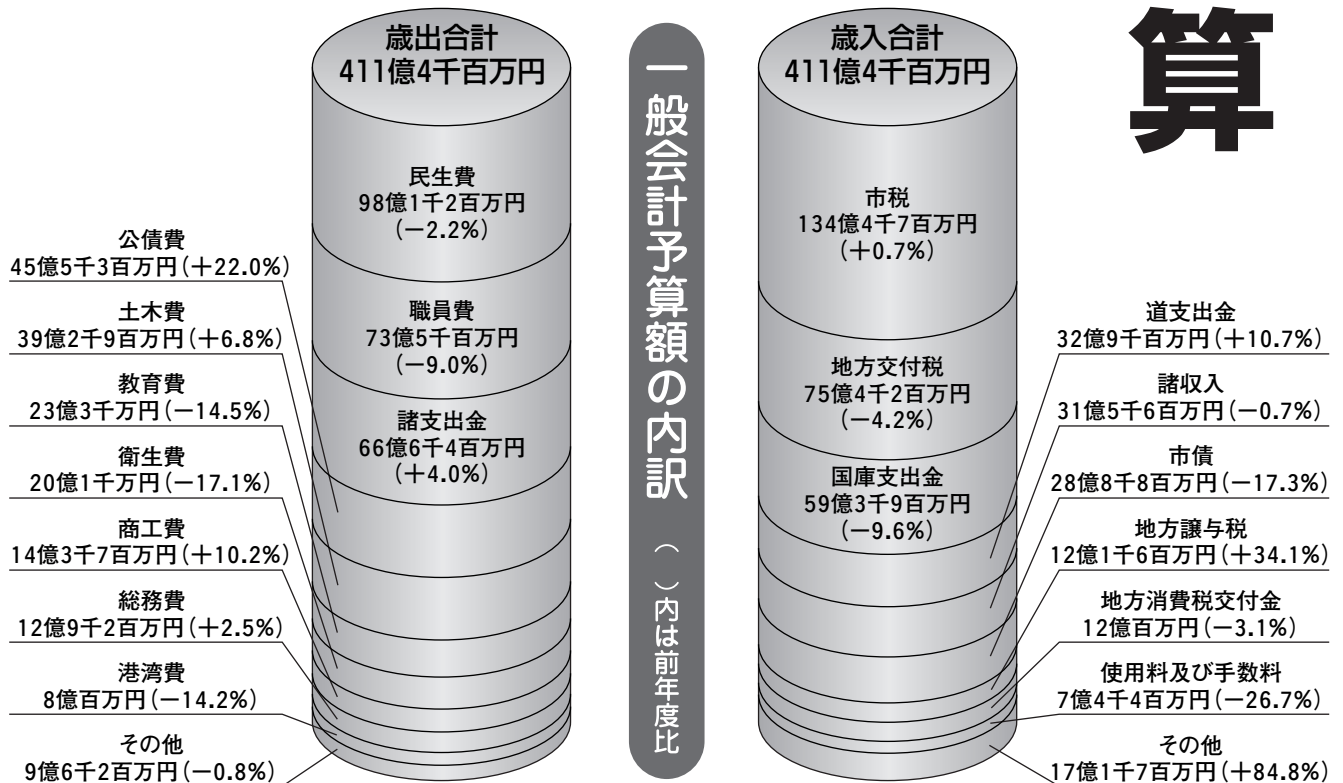
◆新たに地域情報の発信、人材発掘・育成、市民交流の拠点として(仮称)市民活動サポートセンターを開設し、市民同士が「交わりから繋がり」へ、さらに「繋がりからまちづくり」へと輪を広げるための支援をします。

◆ともに汗を流し、市民から信頼される職員づくりを目指し、市民活動に職員が積極的に参加できる環境整備に努めるほか、研修などを通じて、地域における「市民のパートナー」として新しい発想でまちづくりを進める職員の育成を図ります。

◆これからのまちづくりには、町会・自治会を中心とする地域コミュニティの果たす役割が大きくなると考え

まちの予算

平成18年度



ています。まち「ピカ」パートナーの充実・拡大や「まちづくり活動支援補助金」に加え「子どもを守る総合対策プロジェクト」などで、地域住民の自主的な取り組みへの支援を行いながら「心がつながるサークル都市」形成に向け、市民と行政の協働を積極的に進めます。

安全の基盤をつくり 安心の輪を育つまちづくり

◆障害福祉計画を作成し、適切にサービスを提供するとともに、朝陽小学校校舎を活用した障害児施設の移転整備など、地域に支えられて交流する療育環境の実現を検討します。

◆高齢者福祉では、いつまでも健康で安心して住み続け、地域コミュニティの支え手として活躍できるように、健康づくりと介護予防を一元的に推進します。



◆予防医療をさらに充実させる一方、景勝地や名物を取り入れたご当地体操「はぴらん体操」を普及し、運動不足の解消や転倒予防の促進を図る。

で、夜間・休日にも高度な医療で支える小児救急体制を新たに確保し、安心して子供を産み育てられる環境をつくりまします。

◆建築物のアスベスト対策は、国の制度の動向を適切にとらえながら、市としての取り組みを効果的に進めます。

◆環境基本条例に基づき、環境基本計画の策定に着手するとともに、市民協力のもとで、プラスチック製容器包装の分別収集を実施し、ごみの減量化やリサイクルの推進に努めます。

◆都市の安全を高め、安心を確保するために、防災計画の改訂と室蘭工業大学との連携による防災ハザードマップ（災害危険箇所予測図）の作成など、災害への備えを進める中で、地域全体に情報を素早く伝達する方法について検討するとともに、テロなどの事態に備え、本市の国民保護計画を策定します。

◆学校やPTA、育成団体、町会などが協力して子供たちを犯罪や危険から守る運動が広がり、大きな効果がでていきます。参加と住民相互の信頼によって地域の安心を作り出すこの運動は、市民協働に基づく市民力の高さを示すものであり「子どもを守る総合対策プロジェクト」として支援し、拡大充実を図ります。

◆室蘭市だけの防災・安全ではなく、近隣や道内外に貢献できる広域的な災害対応における役割を検討します。

各会計の予算額

各会計の予算額			区分	予算額	前年度比(%)
一般会計	国民健康保険	113億6千3百万円	水道事業	32億7千9百万円	+6.8
	土地区画整理	5億4千4百万円	工業用水道事業	7百万円	+16.7
特別会計	住宅事業	8億6千2百万円	病院事業	106億1千万円	+2.1
	老人保健	128億2千9百万円	中央卸売市場事業	2億4千6百万円	-1.6
	介護保険	55億4千4百万円	白鳥台開発事業	2千2百万円	-8.3
	小計	311億4千2百万円	港湾整備事業	4億6千5百万円	+3.8
			下水道事業	41億7千9百万円	-6.1
			小計	188億8百万円	+0.9
			合計	910億9千万円	+0.7

市政方針、教育行政方針説明の全文と平成18年度予算の概要は、市のホームページからもご覧になれます。

予算のポイント



歳入(収入)

市税 個人市民税、法人市民税、固定資産税、たばこ税などで、市の予算を支える最も重要な収入

地方交付税 自治体の財政力に応じて交付される市税に準じた収入。使途は特定されない

諸収入 いずれの歳入科目にも属さないもの。市貯金利子、貸付金元利収入、学校給食費など

国庫支出金 国が市に対して、使途を特定し交付する補助金など

道支出金 北海道が市に対して、使途を特定し交付する補助金など

市債 建設事業などのための長期借入金
その他 自動車取得税交付金などの各種交付金や、使用料及び手数料、寄付金など

歳出(支出)

民生費 高齢者、身体障害者、児童福祉、生活保護などに関する経費

職員費 職員の給料・諸手当など
諸支出金 特別会計への繰出金や貸付金、企業会計への負担金や補助金など

公債費 建設事業などのために借り入れた長期借入金の元金・利子と一時借入金の利子などを支払う経費

土木費 道路、河川、街路、公園などの維持管理、整備などに関する経費

教育費 小・中学校、生涯学習、文化・芸術、スポーツなどに関する経費

商工費 商工業の振興、観光に関する経費
その他 衛生費、総務費、港湾費、議会費、労働費、農林水産業費、消防費、災害復旧費、予備費

住み続けられる「ふるさと室蘭」 づくりに向けた移住・定住対策

◆児童手当や保育内容の充実、小学校の統合・整備、若者の就職支援、高齢者向け住宅供給の支援などにより、世代別の定住を支援します。

◆団塊世代の大量退職が1年後に迫り、大都市から自然あふれる地方への回帰志向が高まりを見せる中、昨年からの移住体験事業を実施し、首都圏からの参加者が訪れています。体験事業の充実と、民間との連携による「室蘭体験12DAYS(ツーデイズ)プラン」を実施し、住みよいまち室蘭を体験していただく取り組みを強めます。

◆U・Iターンでは、東京と札幌で室蘭市内の企業との面接会を開催し、ものづくりのまちの特性を生かした人材誘致の取り組みを進めます。

◆転入者の歓迎事業として、室蘭ルネッサンスが実施するウエルカムパスの「歓迎カード」発行

を支援するなど、官民連携による移住・定住対策の推進を図ります。



転入者を歓迎し、まちをよく知ってもらおうと、飲食店や娯楽施設などが、優待サービスを提供している。

主な新規施策と予算

点線後の数字は予算額(単位:万円)
(新)は新規、(拡)は拡充

行財政改革の推進

○7ページの「協働改革プランの実施効果」を参照

環境産業・ものづくりのまちの推進

○ものづくり

▼入江地区再生可能エネルギー導入……………(新)5,339

▼産業創出プロジェクト推進事業費補助金……………(新)135

○環境

▼リサイクルの推進(プラスチック製容器包装の分別収集など。11ページを参照)……………(拡)11,338

▼環境基本計画策定……………(新)13

○商工業・観光振興

▼買(バイ)地域運動……………(新)40

▼中小企業振興貸付……………(拡)100,000

▼観光施設整備……………(拡)1,519



多くの観光客が訪れる地球岬を整備し、観光客により良い思い出づくりを。

安心・安全の地域づくりの推進

○防犯

▼子どもを守る総合対策……………(拡)189

○防災

▼国民保護計画策定……………(新)115

▼地域防災計画修正及びハザードマップ(災害危険箇所予測図)作成……………(拡)622

○高齢者・障害者

▼障害者自立支援……………(新)119,402

▼知的障害者地域共同作業所運営補助費……………(拡)4,251

▼子ども発達支援事業……………(新)16

▼介護保険制度改正(地域支援事業の創設など)……………(拡)83,087

○基盤整備

▼市役所及び周辺整備(来庁者駐車場舗装など)……………(拡)6,400

▼望洋台霊園階段手すり整備……………(新)205

▼白鳥新道2期区間推進……………(新)60

▼港湾整備……………(拡)64,750



中央ふ頭にトイレを新設し、客船の入港やイベントなど、利用促進を図る。(帆船「海王丸」が7月28日に入港予定)

▼市営住宅整備……………(新)14,076

○子育て環境

▼児童手当(小学6年生まで拡大)……………(拡)50,356

▼スクール児童館運営管理(新たに2小学校で開始)……………(拡)2,793

▼スクール児童館整備(3小学校)……………(拡)2,088

○保健・医療

▼救急医療対策等……………(拡)4,999

▼公衆浴場確保対策事業費補助金……………(拡)384

○情報化

▼共同電算化基本調査……………(新)561

○教育環境

▼中島・日新統合校建設(測量、設計)……………(新)200

▼港北幼稚園整備……………(新)2,700

▼小・中学校教員用パソコン整備……………(新)4,170(5年賦)

▼子ども読書活動推進事業……………(拡)30

○生涯学習

▼体育施設改修(体育館駐車場整備など)……………(拡)5,490

▼室蘭市史第6巻編さん・発行……………(新)1,388

▼第2回室蘭サッカーフェスティバル開催費補助金……………(新)50

○子どもたちの交流

▼姉妹都市等交流事業……………(拡)953

協働のまちづくりの推進

▼(仮称)市民活動サポートセンター整備及び管理運営……………(新)403

▼「行政パートナー」の推進……………(拡)247

移住定住対策の推進

▼転入者歓迎事業(ウエルカムパス「歓迎カード」の配布など)……………(新)50

▼ふるさと移住応援事業(移住体験事業の充実など)……………(拡)118

▼看護学院奨学金貸付(貸付枠を15人に拡大)……………(拡)630